

# 平成25年度事業報告

## 目次

I	はじめに	.....	1
II	概況	.....	2
III	事業別報告	.....	4
	〈1〉友愛山荘運営事業	.....	4
	〈2〉情報等発信事業	.....	10
	1)機関誌『友愛とは』の発行・配布		
	2)リーフレット『友愛』の作成・配布		
	3)友愛解説冊子『友愛理解のために』及び『道は邇しといえども行かざれば至らず』の作成・発行		
	4)本協会ホームページの作成・更新		
	5)友愛創立60周年記念大会の開催		
	6)公益財団法人への寄付		
	〈3〉国際交流事業	.....	16
	1)派遣事業／ウィーン派遣		
	2)受入事業／オーストリア勤労青年連盟派遣員の受入れ		
	3)交流事業／パオ(中国語名・モンゴルではゲル)の展示開始		
	〈4〉日中緑化交流基金による中国植林事業	.....	23
	〈5〉友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール開催事業	.....	26
	〈6〉他団体への協力事業	.....	30
IV	業務執行	.....	31
	〈1〉理事会開催	.....	31
	〈2〉評議員会開催	.....	33

## I はじめに

### (設立)

一般財団法人日本友愛協会は、昭和28年(1953年)に結成された友愛青年同志会を母体とし、昭和34年(1959年)に財団法人日本友愛青年協会(所管文部省)として設立された。平成23年4月に一般財団法人へ組織変更し、また日本友愛協会と名称を変更して現在まで公益事業を継続している。

### (目的)

日本友愛協会は、友愛の設立者鳩山一郎先生の意志を昇華発展させ、友愛社会の実現を目指し、青年及び社会人の積極的交流、人間と人間、自然と人間の共存共生をはかることを念願し創設された。

相互尊重・相互理解・相互扶助を三原則とする友愛を基調として、内外の青年、社会人との交流を進め、人間と人間、自然と人間との共生をはかることにより友愛社会の実現と世界の平和に貢献することを目的としている。

(定款 前文、第3条目的より)

### (公益事業)

現在、本協会は友愛社会実現のため〈1〉友愛活動の原点であり青年の研鑽の場である「軽井沢友愛山荘」の運営事業、〈2〉機関誌『友愛』の発行を始めとする情報等発信事業、〈3〉オーストリア勤労青年連盟(オーストリア国)・中華全国青年連合会(中国)等との国際交流事業、〈4〉日中緑化交流基金による中国植林事業、〈5〉友愛ドイツ歌曲コンクール開催事業、〈6〉一般財団法人東アジア共同体研究所等他団体への協力事業を行っている。

## II 概況

平成 25 年が、日本友愛協会創立 60 周年にあたることから、それに伴う記念事業として、「創立 60 周年記念大会」開催及び「友愛ホール」建設が特筆される。記念事業の一環である友愛ホールの建設にあたっては、基本財産を以て賄うことが理事会で決議され、評議員会もこれを承認し、実現をみた。

植林事業は、通年より多い 3 か所を担当し、すべての現場から、高い活着率の報告があり、事業としても順調に進んでいることが確認された。

ドイツ歌曲コンクールは、60 周年記念として「東京文化会館」で本選会を開催し、例年を超える来場者を得た。

昨年度より実施されている、月例理事会は本年度においても滞りなく開催され、業務実施にあたっての要の役割を果たした。

〈1〉友愛山荘運営事業においては、敷地内に多目的ホール「友愛ホール」を建設し、ユニバーサルデザインを取り入れるなど広く利用を促すべく設計された。宿泊利用者には、高い評価を得、友愛ホールの存在が友愛山荘利用への呼び水となる現象が起きている。

通年開業の試として、今期冬季期間に運営を続けた。

〈2〉情報等発信事業においては、機関誌『友愛』第 5 2 3 号～第 5 2 8 号を発行した。すべての号は、逐一ホームページ上に掲載され好評を得ている。

今年度は、東日本大震災から 3 年目にあたるが原状回復が難しい状況の続く現地に対し寄付を行うという、公益財団法人公益法人協会が企画した「東日本大震災草の根支援組織応援基金」の趣旨に賛同し、日本友愛協会からと明記される状況での寄付を行った。

〈3〉国際交流事業においては、派遣事業として第 2 4 回友愛ドイツ歌曲コンクール優勝者をウィーンに派遣した。

受入事業として ÖJAB 推薦青年 2 名を受入れ東京・広島・京都での研修旅行が行われた。この事業に、ドイツ歌曲コンクール実行委員として毎年協力を得ている方々が参加し、新たな交流の形態が生まれた。

また、植林活動においても、北京理工大学日本語学科を訪問し、学生間交流を実施するなど、活発な交流が行われた。

特記すべきことは、モンゴル高原の移動式住居「パオ(ゲル)」を、軽井沢友愛山荘敷地内に展示公開し、異文化を体験して知る機会を提供した。

〈4〉日中緑化交流基金による中国植林事業においては、①第3期日中青年湖北省生態緑化林プロジェクト、②第2期日中青年遼寧省錦州市生態緑化モデル林事業、③第2期山西省臨汾市生態緑化事業の3か所を実施した。各事業に訪中団を派遣新たな交流も行われた。(②③の起工式・訪中団派遣実施は次年度)

〈5〉友愛ドイツ歌曲コンクール開催事業においては、第24回友愛ドイツ歌曲コンクールを開催した(応募総数35名)。

〈6〉他団体への協力も、例年通りの協力を実施した。  
けん玉協会の表彰式には、鳩山由紀夫理事長が出席した。

また、60周年記念大会において、けん玉協会から山木八段を派遣して実技を披露していただくなど、多大な協力を得た。

〈7〉会 員 (平成26年3月31日現在)

・平成25年度 会員総数 458名  
(内訳：一般会員406名 賛助会員52名)

### Ⅲ 事業別報告

#### 〈1〉友愛山荘運営事業

(定款第4条第1号、第2号に基づく事業)

事業概要
------

社会の人々への「友愛」の普及、啓発をはかり、心身の健全発達に資する場としての友愛山荘の運営を行う。一般社会に広く開放することにより、世代を越えた交流を促す。ゼミ・研修会・親睦会・合宿等の利用に適した施設を安価な利用料金にて提供する。

#### 1) 利用状況

	延べ宿泊人数	総売上金額
平成25年度	1,563人	11,879,196円
前年比	8%増	17%増

《参考》

平成24年度	1,453人	10,153,031円
平成23年度	1,242人	8,712,233円
平成22年度	1,441人	10,682,075円
平成21年度	1,316人	10,087,175円
平成20年度	1,224人	9,446,185円
平成19年度	1,016人	6,559,020円

#### 2) 運営費用状況

人数・売上	利用人数	売上総額
24年度	1,453	10,153,031
25年度	1,563	11,879,196
前年比(%)	108	117

主要経費	食材仕入	リネン経費	燃料経費	水道光熱費
24年度	2,157,732	460,034	325,352	2,441,497
25年度	2,217,039	728,125	497,872	2,521,830
前年比(%)	103	158	153	103

一人当り経費	食材仕入	リネン経費	燃料経費	水道光熱費	一人当り経費計
24年度	1,485	317	224	1,680	3,706
25年度	1,418	466	319	1,613	3,816
前年比(%)	96	147	142	96	103

### 3) 友愛創立60周年記念「友愛ホール」建設

平成25年7月末日完成

研修施設として、また小さな音楽会の開催も可能な、多目的に利用できるホールが友愛山荘敷地内に完成した。

(友愛ホール仕様)

構造：木造平屋建て

延べ床面積：122.97平米

収容人数：49名



(室内設備)



会議用長テーブル25台、椅子55脚、  
120インチスクリーンとプロジェクター、視聴覚設備、  
アップライトピアノ  
給湯室

(ユニバーサルデザイン対応)

- ・ 全体的にバリアフリー設計を採用。
- ・ 玄関前まではスロープ設計 (写真①)
- ・ 入り口から床は全てフラット。敷居の段差なし。  
宿泊者で希望の方には軽量車椅子の用意あり。(写真②)
- ・ 館内の扉はすべて引き戸仕様。
- ・ バリアフリースイッチの入り口も引き戸。十分なスペースを確保し、便器脇の手すりを可動式にするなど、使い勝手が充実。(写真③)
- ・ 洗面所の洗面台の高さ(75cm)、動線のスペースを確保。(写真④)
- ・ ホール内の電気スイッチ等は車椅子利用のままでも手の届く位置に設置。

①



②



③



④



### 《参考／本館》

ユニバーサルデザイン設計の「友愛ホール」を始め、宿泊施設である「本館」も順次ユニバーサルデザインの補助具を取り入れている。

- ◆ 本館の玄関ポーチの段差にはスロープ(可動式)を用意(写真①・②)  
段の高さ：19cm (一段目7cm、二段目12cm)

①



②



◆玄関上がり框用、スロープと手すり(共に可動式)を用意(写真③・④)

玄関土間の高さ：20cm

③



④



◆ベッドの横には、手すりを用意(可動式)

(写真⑤)ベッドの高さ：40cm

⑤



◆浴室脱衣所の上がり框用、スロープ(可動式)も用意。(写真⑥)

框の高さ：10cm 脱衣所から風呂場への入り口には段差はなく、ドアは引き戸になっている。(写真⑦)

風呂場の床は滑らぬ素材で、湯船とはフラットな設計。湯船(深さ：50cm)には、ステップ(高さ：26cm)があり、固定式手すりが付いている。(写真⑧) 補助椅子も2脚用意。(高さ：36～46cm 調節6段階) (写真⑨)

⑥



⑦



⑧



⑨



#### 4) 広報

前回の緑に囲まれた爽やかな友愛山荘イメージはそのままに、友愛ホールとユニバーサルデザイン箇所の情報写真を載せて、友愛山荘パンフレットをリニューアル。

#### 友愛山荘パンフレット



平成26年4月1日より消費税が5%から8%へ増税となるため、友愛山荘の利用料金も次年度より改定されることとなった。

(平成26年1月理事会にて決議。平成26年4月1日より適用)  
友愛山荘パンフレットへの差込価格表もリニューアル。この価格表の裏面を利用し、中国浄宗学会より寄贈された包(パオ)の紹介を掲載。

#### 友愛山荘利用料金表 (次年度より適用・3月より配布)

**友愛山荘利用料金表**

お一人様の利用料金(税込)です。(1泊2食付)

利用料金		団体割引料金	
		5~9名	10名以上
一般	10,000	9,000	8,000
会員	9,000	8,000	7,000
学生	8,000	7,000	6,000

◆団体割引適用条件◆  
 ◆5名まで同室  
 ◆5名以上で、下記利用目的の場合  
 研修会・勉強会・親睦会・合宿・ゼミ・学習指導  
 世代間交流・共同生活体験・健康促進・自然体験

ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。  
 一般財団法人 日本友愛協会 事務局  
 TEL 03-5684-3188

表

裏

包(パオ)は、モンゴル高原に住む遊牧民の人たちが使っている、伝統的な移動式の家です。  
 日本友愛協会は、中国浄宗学会より寄贈されたこの包を日本の多くの方に高覧いただき、外国文化に触れ、相互理解の一助になれば幸いと存じ、国際交流事業の一環として軽井沢友愛山荘に展示しています。



◆注意 羊の毛を使っていますので、動物の毛などにアレルギーのある方は、ご注意ください。

友愛山荘パンフレットは各会員へ郵送及び、東京事務所、鳩山会館等で配布した。また、関係団体等に依頼し、機会ある毎に配布協力を得た。

併せて、事務局のある文天ビル所有者の協力を得、同ビル入り口付近・エレベーター内・事務局入り口に友愛山荘ポスターを掲示。パンフレットを持ち帰れるように設置した。



エレベーター内



ビル入り口付近



事務局入り口扉

## 5) 友愛山荘管理人棟（休憩室）改築

管理人棟の老朽化に伴い、改築の必要性が生じた。

また、春先の大雪により屋根、外壁など修理の必要性が生じたため、友愛ホールへの建設と併せて管理人棟の改築を行った。

- ・次年度に向けて、管理人常駐の体制が整い、冬季期間を含む通年営業が可能となった。
- ・管理人常時雇用の為の条件が整い、人材の確保が望める。

## 6) 友愛山荘入口及び敷地内駐車スペース整地

友愛山荘敷地入口（車寄せ付近）及び敷地内駐車スペースに水たまりができる、一部陥没が生じるなど整地が必要な状況となり、友愛ホールへ移動の際の足回りの問題もあり、全面的に整地を行った。

- ・陥没は、地中に古い浄化槽があったため生じたもので、これを埋め安全を確保した。
- ・駐車場スペースも、砂利を敷いたため使いやすくなった。
- ・友愛ホールへの移動の足回りも、砂利を敷き確保できた。

## 〈2〉情報等発信事業

(定款第4条第1号、第6号に基づく事業)

### 事業概要

機関紙『友愛』の発行、ホームページでの情報開示(事業報告等を含む)及びリーフレットの作成、配布などを通じ、本協会の実施事業、実施目的などを広く伝達し、友愛理念についての理解を深める一助とする。

#### 1) 機関紙『友愛』の発行・配布

##### 〈平成25年度機関紙『友愛』発行状況〉

平成25年5月(第523号)	4000部 発行	<ul style="list-style-type: none"><li>・OJAB 来日 充実の8日間</li><li>・第21次植林訪中団報告</li><li>・第22次訪中植林団報告</li><li>・ウィーン研修を終えて</li></ul>
7月(第524号)	4000部 発行	<ul style="list-style-type: none"><li>・友愛創立60周年記念大会特集</li><li>・第6回定時評議員会</li><li>・第15回通常理事会 開催</li><li>・第23次植林訪中団報告</li></ul>
9月(第525号)	4000部 発行	<ul style="list-style-type: none"><li>・友愛ホール完成</li><li>・パオ展示開始</li><li>・特別寄稿クブキ国際フォーラムに参加して…理事長 鳩山由紀夫</li></ul>
11月(第526号)	4000部 発行	<ul style="list-style-type: none"><li>・第24回友愛ドイツ歌曲コンクール出演者決定</li><li>・「友愛ホール」大活躍「利用者の声」</li><li>・特別寄稿 ネパール旅行記…理事長 鳩山由紀夫</li></ul>
平成26年1月(第527号)	4000部 発行	<ul style="list-style-type: none"><li>・巻頭言 理事長 鳩山由紀夫</li><li>・巻頭言 副理事長 鳩山邦夫</li><li>・第24回友愛ドイツ歌曲コンクール本選会結果発表</li></ul>

3月(第528号) 4000部 発行

- ・OJABより二名来日 日本文化に興味津々
- ・鳩山安子名誉会長一年祭
- ・友愛婦人会卒業式
- ・軽井沢友愛山荘受付開始

#### 《『友愛』の配布》

会員の他、新聞購読希望者など約1,500箇所にて郵便で直接配布している。また、軽井沢友愛山荘、鳩山会館等関係各所にて配布している。関係団体への配布、海外関係先への配布も併せて行っている。

### 2) リーフレット『友愛とは』の作成・配布

- ・郵送及び、東京事務所、鳩山会館等で配布した。
- ・関係団体などの集会、植林訪中時のボランティア青少年への配布など、機会を捉えて広く配布に努めた。
- ・中国国内において、全青連の協力を得て、交流の機会として大学訪問など「友愛」解説の機会を設け、広く『友愛とは』リーフレットを配布した。

### 3) 友愛解説冊子『友愛理解のために』及び小冊子『道は邇しといえども行かざれば至らず』の作成・発行

- ・郵送及び、東京事務所等で配布した。

### 4) 本協会ホームページの作成・更新

- ・随時ホームページを更新した。写真を多用し、「見て解る」活動内容の掲示に努めた。
- ・友愛山荘利用者、友愛ドイツ歌曲コンクール参加者に対して大きな情報発信効果が認められた。
- ・機関紙友愛バックナンバー(第1号～最新号)を掲載。公益活動団体においても、ここまでの情報開示は行っていないことから、関係各方面より、高い評価を受けている。
- ・ホームページアドレス <http://yuaikyokai.com>  
メールアドレス [yuai@yuaikyokai.com](mailto:yuai@yuaikyokai.com)

## 5) 友愛創立60周年記念大会の開催

### 《大会概要》

(主 催) 一般財団法人 日本友愛協会  
 (日 時) 平成25年5月19日(日) 11時開場 12時開催  
 (会 場) 鳩山会館  
 (記念大会会長) 鳩山邦夫理事長  
 (準備機関) 友愛創立60周年記念大会実行委員会  
 実行委員長 川手正一郎常務理事  
 実行委員 武田記念男理事 木村正治理事  
 芳賀大輔評議員 福田八州雄評議員

### (担当業務)

来賓担当 武田記念男実行委員  
 会場設営担当 木村正治実行委員  
 司会進行担当 芳賀大輔実行委員  
 広報担当 福田八州雄実行委員  
 会計担当 福田八州雄実行委員  
 記念品作成担当 福田八州雄実行委員  
 受付担当 友愛婦人会

(参加人数) 約200名

### (支 出)

会食費用		962,425
会場設営費 看板		25,200
会場設営費 お花		10,500
紅白饅頭	1,150 × 200	230,000
通信費(案内送付)	80 × 500	40,000
通信費(返信葉書)	70 × 200	14,000
通信費(配送手数料)		13,436
交通費		72,860
事務用品費		35,780
記念撮影(撮影依頼)		50,000
記念写真代		224,890
お手伝い謝礼等(お弁当・飲み物)		75,000
	合 計	1,754,091

\*開催当初の予算以内の支出であった。

(大会内容・進行)

- ・「友愛青年同志会」(昭和28年4月29日創立)から数えて、現在の「一般財団法人日本友愛協会」までの創立60周年記念大会が音羽の鳩山会館にて開催された。
- ・大会当日は五月晴れの空の下、満開のバラが大勢の来賓の方、同志をお迎えした。
- ・会はず、平成25年2月日に亡くなられた鳩山安子 名誉会長への黙祷から始まった。
- ・引き続き川手正一郎 実行委員長、鳩山邦夫 大会会長、鳩山由紀夫 副理事長、井上和子 評議員長の挨拶があり、参加者全員での記念撮影の後、鶴巻克雄 顧問の乾杯で開宴した。
- ・来賓の方よりの祝辞、祝電の披露が行われ、途中、日本けん玉協会の理事長を務める本協会監事の奥住壽先生のご尽力で、山木八段による実技披露が行われ、会場を和ませた。
- ・また、同奥住監事の提供のもと、全員にけん玉がお土産として贈呈された。他にお土産として「友愛」焼印の紅白饅頭を作成した。
- ・閉会の辞は奥田吉郎理事が務め、盛会のうちに大会を終えた。
- ・受付・記念品配布など、友愛婦人会の方々が担当してくださった。



挨拶をする鳩山邦夫大会会長



鳩山由紀夫副理事長



実行委員長 川手正一郎常務理事



井上和子評議員長



友愛婦人会の皆様のご協力を得て



奥田吉郎理事



咲き誇る満開のバラと五月晴の青空が出迎えた



鶴巻克雄顧問



司会進行 芳賀大輔実行委員



山木八段の技に大きな拍手が

## 6) 公益財団法人への寄付

(定款第4条第2号、第7号に基づく事業)

公益財団法人公益法人協会企画「東日本大震災草の根支援組織応援基金」への寄付を行った。

金額：200万円(26年1月23日 振込にて送金済)  
条件として寄付の相手先に日本友愛協会の名前を伝えることができる。また、日本友愛協会案内パンフレット『友愛とは』を配布できる等のことから、公益事業とし、情報発信事業に組み入れた。

・寄付相手先

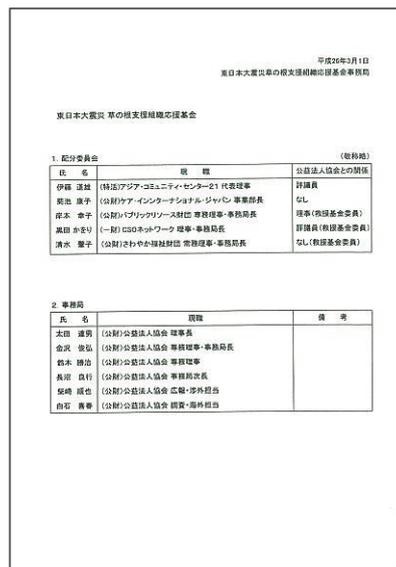
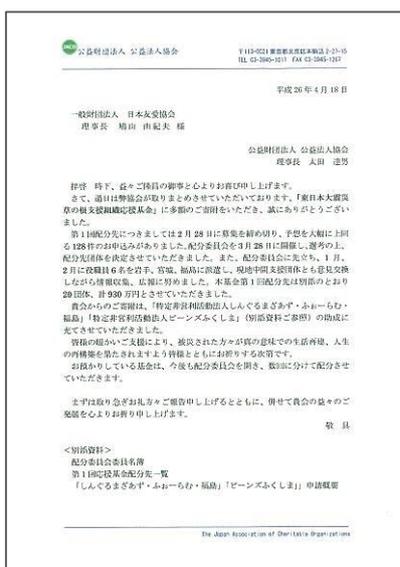
しんぐるまざあず・ふおーらむ・福島

ひとり親家庭の支援活動を主な活動とする特定非営利活動団体

ビーンズふくしま

仮設住宅で暮らす子供の支援を主な活動とする特定非営利活動団体

- ・第1回配分として上記2団体への寄付が、公益法人協会より実施された。
- ・配分先の決定にあたっては、「東日本大震災草の根支援組織応援基金」の配分委員会によって選考がなされ、本協会もこれを了承した。
- ・公益法人協会太田達男理事長より、寄付受領と配分の報告が届いた。



公益法人協会より届いた、受領及び配布に関する書状(左)  
配布委員会・事務局名簿(右)



## ウィーンでのコンサート

木村さんの歌声は観客を魅了し、溢れんばかりの拍手を受けた。イタリア人のリートピアニスト、グレタ・ベニーニさんと一緒にリートの世界を上げることが出来たことは、とても素晴らしい経験になったと喜んでた。

体験談：『友愛』掲載



コンサート会場で熱唱する木村善明さん



**Yoshiaki Kimura, Bass**

Der japanische Bass Yoshiaki Kimura stammt aus Okayama (Japan) und studierte von 2000 bis 2004 Gesang sowie bis 2007 Master Oper an der Universität der Künste Tokio (Tokyo Geijutsu Daigaku). Er setzte sein Studium zunächst an der Opernschule der Musikhochschule Karlsruhe bei Prof. Stedding Sigmar, dann am Conservatoire Toulon (Frankreich) bei Prof. Udo Reinemann fort, wo er im Mai 2011 sein Studium mit Auszeichnung abschloss. Von 2009 bis 2010 besuchte er zudem die Meisterklasse von Prof. Udo Reinemann am Königlichen Konservatorium in Brüssel / Belgien. Von 2011 bis 2013 studierte er an der Musikhochschule Stuttgart Master Lied bei Prof. Cornelis Witthoefft (Gesang bei Yasuko Kozaki) und schloss im Juli 2013 diesen Studiengang mit der Bestnote 1,0 ab. Derzeit studiert er an der Musikhochschule Trossingen Konzertexamen Gesang bei Prof. Andreas Reibenspiess. Yoshiaki Kimura wird weiterhin als Kontaktstudent von Prof. Cornelis Witthoefft unterrichtet und künstlerisch betreut.

Für die Spielzeit 2011/2012 wurde er von der Stiftung Robus als Stipendiat am Flanders Opera Studio Antwerpen / Belgien ausgewählt. Im Jahr 2011 übernahm er in der Produktion von Mozarts *Le nozze di Figaro* der Sommer Oper Bamberg die Titelrolle.

Er ist 1. Preisträger des 1. Japanischen Lied-Wettbewerbs und des 11. Sakurapila-Liedwettbewerbs und wurde im April 2013 in Japan mit dem Goto Kultur-Preis, dem Goto-Preis für neue Opernsänger und dem Okayama Kultur-Preis ausgezeichnet.

Erster Preisträger des 25. YUAI-Liedwettbewerbes 2013 in Tokio.

Yoshiaki Kimura tritt auf mit Unterstützung von  
**NIHON YUAI Kyoukai** - [yuaikyoukai.com](http://yuaikyoukai.com)



Kürzlich hat Yoshiaki Kimura ein Interview mit dem Schweizer Musikjournalisten Hans-Joachim Roedelius gegeben. In dem Interview erzählt er über seine musikalische Entwicklung, seine Erfahrungen als Opernsänger und seine Zusammenarbeit mit dem Komponisten Udo Reinemann. Er spricht auch über seine aktuelle Arbeit als Kontaktstudent von Prof. Cornelis Witthoefft und seine künstlerische Betreuung.

Im Sommer 2013 ist Yoshiaki Kimura in Tokio an der Universität der Künste Tokio (Tokyo Geijutsu Daigaku) im Rahmen der Meisterklasse von Prof. Udo Reinemann an der Opernschule der Musikhochschule Karlsruhe im Gespräch. Er spricht über seine musikalische Entwicklung, seine Erfahrungen als Opernsänger und seine Zusammenarbeit mit dem Komponisten Udo Reinemann. Er spricht auch über seine aktuelle Arbeit als Kontaktstudent von Prof. Cornelis Witthoefft und seine künstlerische Betreuung.

## 当日のプログラム 木村さんのプロフィール と友愛のロゴ



OJAB シュスラー会長(左端)、ピンマー最高執行責任者(右端)、共演者の方々と記念撮影(中央に木村さん)

## 2) 受入事業／オーストリア勤労青年連盟派遣員の受入れ

### (ÖJAB 派遣員プロフィール)

- マルクス グルーバー  
・ Mr. Mag. Markus Gruber 36歳 青少年&学生課課長  
クラウディア クレッシンガー  
・ Mrs. Claudia Klessinger 38歳 寮責任者

### 《25年度活動内容》

日本友愛協会と姉妹団体の関係にあるオーストリア勤労青年連盟(ÖJAB)は、毎年それぞれに派遣員を送り、交流を続けている。今年度も日本文化に多大な興味を寄せる二人が派遣され来日した。

期間：平成26年1月24日から1月31日

アテンドに柏井 優さん、松村衣梨さん、納谷結花さんが協力参加。新たな直接的交流の機会を提供できた。

鳩山一郎先生の遺志を受け、原爆資料館を見学、平和記念公園において祈りを捧げた。広島平和文化センター小溝泰義理事長より平和への取り組みについて講義を受けた後、広島市荒本徹哉副市長と面談の時を得た。

### (視察プログラム)

- 1月24日(金) 成田空港 到着  
友愛協会事務所 来訪
- 1月25日(土) 築地市場 見学後 京都へ  
伏見稲荷・平等院 見学
- 1月26日(日) 金閣寺・竜安寺・等持院(茶道体験) 見学  
和装(着物)体験・銭湯体験  
昼食：関西風うどん，夕食：京懐石
- 1月27日(月) 広島へ移動  
広島市荒本副市長表敬訪問(理事長親書お届け)  
広島平和記念公園 献花(平和に関する講義受講)  
(公)平和文化センター小溝泰義理事長と慰霊碑参拝  
夕食：広島風お好み焼き
- 1月28日(火) 貞子の像 参拝  
原爆ドーム，原爆資料館・宮島厳島神社 見学  
昼食：あなご丼，夕食：牡蠣料理
- 1月29日(水) 東京へ戻る  
鳩山会館 訪問  
歓迎夕食会 開催

1月30日(木) 浅草雷門、仲見世、スカイツリー等 観光

昼食：天井，夕食：江戸前寿司

1月31日(金) 成田空港 昼発 帰国の途へ

### 【ÖJAB 歓迎夕食会】

開催日 1月29日(水) 18:00より 場所 港区芝公園 どうふ屋うかい

出席者

ÖJAB 派遣員

マルクス グルーバー

・ Mr. Mag. Markus Gruber

クラウディア クレッシンガー

・ Mrs. Claudia Klessinger

日本友愛協会

・ 理事長 鳩山由紀夫

・ 常務理事 川手正一郎

・ 理事 木村正治

・ 事務局 羽中田元美

その他協力参加

・ 納谷結花さん ・ 松村衣梨さん

・ 通訳 河口ハルトマン・ミヒャエラ



敷いた憧れの金閣寺を訪問できて、大満足の二人。



正座は流石に苦手。しかし茶道ではこのようにするのでしようと、正座して作法通り抹茶に挑戦した。



竜安寺の枯山水を「哲学的だ!」と。いつまでも二人で、どう理解するかと話し合っていた。



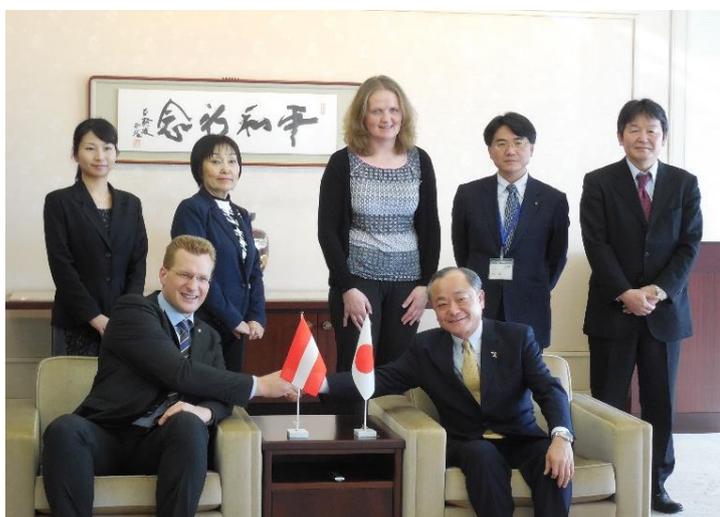
日本の文化に多大な興味を持つ二人の、たっの希望で和服の着用体験。



広島平和文化センター小溝泰義理事長(写真右端)より、平和への取り組みについて講義を受ける。



広島にて。資料館を見学、平和への取り組みの講義の後、真摯な面持ちで長いこと祈りを捧げていた。



広島市荒本副市長を訪問。和やかな雰囲気です話が弾んだ。広島市からは毎年多大なご協力を得ている。



広島平和文化センター小溝理事長に ÖJAB メンバーの象徴であるピンバッチをプレゼント



日本文化は何でも試したい二人。広島市内鯉城にて、戦国時代の殿と奥方に変身。



時間の関係で、鳥居の近くまで潮が引いていた。是非歩いて近くまで行きたいと、冒険。



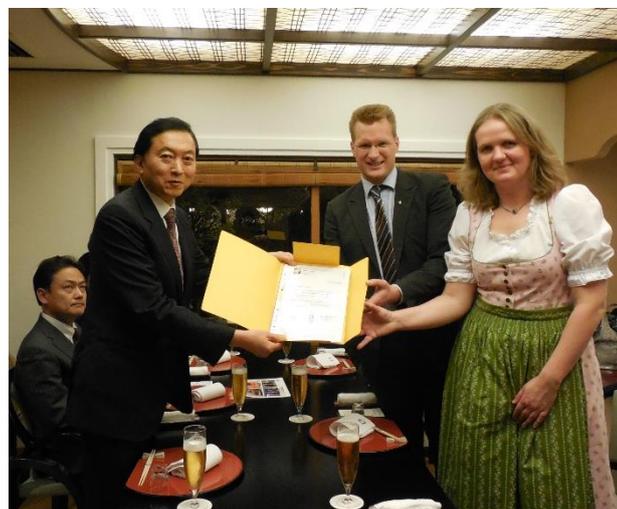
鳩山会館にて。右端は松村衣梨さん。左端は通訳のミヒャエラさん、左二番目は納谷結花さん。



鳩山会館長田支配人の説明を受け、熱心に展示を見学。



歓迎食事会で、鳩山由紀夫理事長にシュスラー会長からの親書を。是非ウィーンにとのお誘いが。



浅草寺仲見世で人形焼や箸、やげん堀の唐辛子など日本ならではの土産を購入し浅草を満喫。



最後の晩は、東京で江戸前寿司を体験。生の魚は美味しいとの結論を得た。

### (3) 交流事業／パオ(中国語名・モンゴルではゲル)の展示開始

平成25年8月8日 友愛山荘の庭、テニスコート寄りに二基のパオを設置



パオはモンゴル遊牧民の移動住居である。このパオは、中国浄宗学会の浄空法師より、鳩山由紀夫ご夫妻に寄贈されたものである。日本友愛協会は、国際交流事業の一環としてこのパオを友愛山荘敷地内に展示し、外国文化に触れる機会を提供することにした。実際に現地で使用される物を展示していることから、生活の実際を垣間見ることができる。また併せて、資料としての衣類(民族衣装)、家具なども展示している。

趣意として下記の文章を、当該展示物に掲示し、友愛の理念を伝えている。

《趣意》国際交流の一環として包(パオ)を日本の多くの方にご高覧いただき、外国文化に触れ、相互理解の一助になれば幸いと存じ、軽井沢友愛山荘に展示します。



長い船旅を終えて届いたパオの材料



パオを地面からの湿気から守るため、まず砂利を盛り上げ、砂を



パオの骨組みが出来上がる。



天井と梁の木々を支えているのは、外周の柵。つなぎは革ひも。



パオの天井。丸い枠を周りの弓のような木が支えている



出来上がったパオの内部。紙の紙縞で織った敷物を敷いた

## 〈4〉日中緑化交流基金による中国植林事業

(定款第4条第2号、第4号に基づく事業)

### 事業概要

日中緑化交流基金を活用し、中国における植林活動を行う。環境保全に貢献し日中友好を目指す。併せて交流の機会を設け広く友愛の理念を伝える機会を得る。実施においては、中華全国青年連合会(国際交流中心)を中国側カウンターパートとし、日本からは広く募集をかけ参加者を募り、訪中団を結成し中国に派遣する。

### 《25年度事業内容》

#### 1) 第3期日中青年湖北省孝感市生態緑化プロジェクト

(期間) 平成26年3月11日～14日

(植林地) 湖北省孝感市

(中国側カウンターパート) 中華全国青年連合会、湖北省青年連合会

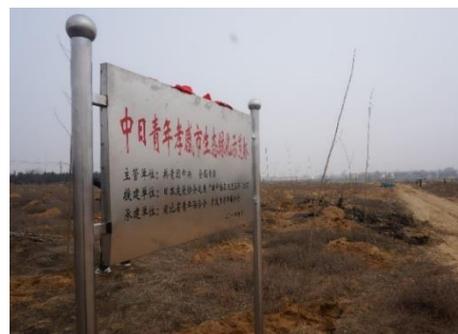
(日中緑化交流基金からの助成金額) 1,200万円

### 《25年度孝感市第3期事業概要》

当事業は、日中緑化交流基金の助成を受け中華全国青年連合会、湖北省青年連合会と共同して実施された。植林地の衛店鎮は孝感市孝昌県の北部にあり、全体の地形が丘陵で、荒山が多く、経済発展に伴う環境問題も日増しに厳しくなっている地域である。よって植林を通じ水源を涵養し、気候を調整し、水土を保全することで、孝感市衛店鎮の住民の生活環境の改善に重要な役割を果たすものである。

また、2013年7月に入ってから深刻な干ばつ災害により、2012年度事業地は活着率50%以下という大きな被害を受けた。これにより、今年度の事業でポプラ4万本分を補植することとなった。

- (植林面積) 30ヘクタール
- (植樹数) 36,000本
- (植樹種) ポプラ
- (訪中団員) 川手祥右さん(東京工芸大学2年生)  
高橋佳大さん(城西大学2年生)  
羽中田元美(事務局)





村人もそろって手伝いに参加



苗の状態

根付きを良く  
するため機械  
で穴を掘る



地元のおばあちゃんとおしゃべり



農業の地で見本の  
村づくりを奨励し  
ている



訪問した北京理工大学





\* 全青連国際交流中心の協力で、「北京理工大学・日本語学科」の学生と交流会

## 2) 第2期日中青年遼寧省錦州市生態緑化モデル林事業

(遂行状況) 平成25年10月 事業設計  
11月 作業道路整備、植林前準備  
26年 3月 地拵え、苗木購入  
4月 起工式

(植林地) 遼寧省錦州市

(中国側カウンターパート) 中華全国青年連合会、錦州市青年連合会

(助成金額) 6,800,000円

\* 次年度4月18日より、第25次植林訪中団を派遣予定

## 3) 第2期日中青年山西省臨汾市生態緑化事業

(遂行状況) 平成25年10月ー11月 貯水池、作業道路整備  
12月 実地調査  
26年 3月 苗木準備、植林前準備  
4月 起工式

(植林地) 山西省臨汾市

(中国側カウンターパート) 中華全国青年連合会、臨汾市青年連合会

(助成金額) 13,400,000円

\* 次年度4月18日より、第25次植林訪中団を派遣予定

## 〈5〉友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール開催事業

(定款第4条第2号、第5号に基づく事業)

### 事業概要

友愛の理念に基づき青少年の音楽文化に対する涵養を促し、国際交流の機会を提供すべく、本コンクールを実施する。実施にあたり、ドイツ歌曲を学ぶ音楽家の育成、音楽文化の発展に寄与することを目的に全国から参加者を募る。

(名称)

平成25年度文部科学大臣賞第24回友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール

(日程・会場)

第一次予選会	10月28日(月)	文京シビックホール 小ホール
第二次予選会	10月31日(木)	同上
本選会	11月26日(火)	東京文化会館 小ホール

(応募資格)

平成25年4月1日現在 満18歳～35歳の者、  
学歴、国籍、音楽歴は問わない

(実行委員会)

実行委員長：島崎照代

運営統括責任者：羽中田元美(本選会)

井之輪豪(一次、二次)

実行委員：原俊子 稲見裕美 榎本みさ 稲垣朋子 岩井和子 川本輝世  
松村衣梨 柏井優 橋谷田智史、山田結花 阿賀陽子 藤井玲南

(関係機関)

協力：オーストリア勤労青年連盟(ÖJAB)

後援：文部科学省、外務省、オーストリア大使館、ドイツ連邦共和国大使館  
日墺文化協会、公益社団法人日本演奏連盟

協賛：株式会社音楽之友社、

株式会社河合楽器製作所、株式会社ヤマハミュージックジャパン、  
日本R.シュトラウス協会

(表彰及び賞金)

第一位賞金20万円、第二位賞金20万円、第三位賞金10万円、奨励賞賞金5万円(学生の部)、日本歌曲賞賞金5万円、優秀共演者賞賞金5万円、聴衆者賞賞金5万円、日本R.シュトラウス協会賞賞金5万円

\*その他、第一位受賞者には、副賞として平成26年3月19日ウィーンにて実施される ÖJAB 主催の音楽会に出演できる。また、ウィーンまでの往復航空券を当協会が提供し、オーストリア勤労青年連盟(ÖJAB)の協力を得て8日間のウィーン研修滞在を提供する。

(参加者募集・選考経過)

平成25年6月より募集要項を全国の音楽大学、音楽関係団体に郵送。専門誌への広告掲載、ホームページにて告知。

平成25年9月20日(金)～10月4日(金)までの間、応募受付。

応募者総数 計45名(一般36名、学生9名)

第一次予選出場者: 45名(一般36名、学生9名)

第二次予選出場者: 27名(一般22名、学生5名)

本選会出場者: 10名(一般7名、学生3名)

(本選会入場者数) 約250名

(審査員)

小松英典	ドイツ連邦共和国認定終身教授(二次、本選会)
菅英三子	東京藝術大学准教授(一次、二次、本選会)
高橋啓三	東京音楽大学教授(一次、二次、本選会)
寺谷千枝子	東京藝術大学教授(一次、二次、本選会)
三ツ石潤司	武蔵野音楽大学教授(本選会)
本島阿左子	国立音楽大学准教授(一次、二次、本選会)
ヨズア・バルチュ	武蔵野音楽大学講師・ドイツ語発音法(一次、二次、本選会)
島崎照代	日本友愛協会参与・実行委員長(一次、二次、本選会)

(結果)

- ・第一位 木村善明(バスバリトン)  
文部科学大臣賞 ドイツ国立シュトゥットガルト音楽大学  
聴衆者賞 大学院リート科修了
- ・第二位 松原みなみ(ソプラノ)  
日本歌曲賞 東京藝術大学大学院音楽研究科在学中
- ・第三位 中島桃子(ソプラノ)

- 東京藝術大学大学院音楽研究科  
修士課程独唱専攻在学中
- ・奨励賞(学生) 久保田絵美(ソプラノ)  
東京藝術大学音楽学部声楽科在学中
- ・優秀共演者賞 井出徳彦 桐朋学園芸術短期大学卒業
- ・入選 影山麻莉子(メゾソプラノ)  
東京藝術大学在学中
- 堀越尊雅(テノール)  
国立音楽大学演奏学科声楽専修在学中
- 杉原 藍(ソプラノ)  
東京藝術大学音楽研究科修士課程  
独唱専攻在学中
- 金持亜実(ソプラノ)  
東京藝術大学音楽学部大学院音楽研究  
科博士後期課程在学中
- 那知上亜美(ソプラノ)  
東京藝術大学大学院修了
- 藤原未佳子(ソプラノ)  
大阪音楽大学大学院修了

以上10名

\*日本R.シュトラウス協会賞は該当者なし。

(総括)

- ・年度の応募者数は45名(一般36名、学生9名)。
- ・年度(59名)より大きく減少した。東京音楽コンクールなど他のコンクールと開期時期が重なったためと思われる。
- ・今回は、60周年を記念し、本選会を東京文化会館小ホールにて開催した。
- ・本選会来場者数は前年を上回り、250名であった。
- ・審査結果は本選終了後、会場に於いて発表した。
- ・本協会理事長 鳩山由紀夫の挨拶文を本協会評議員長 井上和子が代読した後、結果発表、賞状授与を同じく井上和子評議員長が行った。
- ・本年度の日本R.シュトラウス協会賞は審議の結果、賞の授与に値する演奏者がいないとの結論を得、該当者なしとなった。
- ・自由選曲である日本歌曲に於いては課題曲を設けてはどうかとの声があり、審査員の先生方と来年度に向けて審議中である。



## 〈6〉他団体への協力事業

(定款第4条第2号、第7号に基づく事業)

### 1) 鳩山会館への協力

- ・同会館パンフレットを東京事務局、軽井沢友愛山荘にて配布。
- ・鳩山由紀夫理事長を館長、長田正太郎監事が支配人を務める。

### 2) 鳩山友愛塾への協力

### 3) 一般財団法人 人間塾への協力

### 4) 一般財団法人 東アジア共同体研究所への協力

### 5) 核兵器禁止平和建設国民会議 (KAKK I N) への協力

- ・同会議会員として参加する。

### 6) 一般財団法人尾崎行雄記念財団への協力

- ・同財団会員として参加する。
- ・鳩山由紀夫理事長が同財団副会長を務める。
- ・鳩山邦夫副理事長が同財団顧問を務める。
- ・谷藤悦史評議員が同財団評議員、萩原直三評議員が同財団理事を務める。

### 7) 公益財団法人日本補助犬協会への協力

- ・東京事務局及び友愛山荘内に募金箱を設置。
- ・鳩山由紀夫理事長が同協会の名誉顧問を務める。

### 8) 一般財団法人日本けん玉協会への協力

・同協会主催「第11回 けん玉ペインティングコンテスト」に「日本友愛協会賞」および「団体賞」を提供し、賞金として総額6万4千円を拠出した。鳩山由紀夫理事長が表彰式に出席し同賞を授与した。



鳩山由紀夫理事長と受賞者



作品が印刷された賞状



独創的な米倉音色さんの作品

## IV 業務執行

### 〈1〉 理事会開催

#### 第13回臨時理事会

開催日：平成25年4月19日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、友愛創立60周年記念大会等」

#### 第14回臨時理事会

開催日：平成25年5月10日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、第15回通常理事会、第6回定時評議員会等

#### 第15回通常理事会

開催日：平成25年6月14日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：平成24年度事業報告・計算書類、平成24年度公益目的支出計画実施報告書

#### 第16回臨時理事会

開催日：平成25年6月14日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：代表理事、業務執行理事の選定

#### 第17回臨時理事会

開催日：平成25年7月25日（木）

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、軽井沢友愛山荘、日中緑化交流事業等

#### 第18回臨時理事会

開催日：平成25年9月12日（木）

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、日中緑化交流事業、軽井沢友愛山荘等

第19回臨時理事会

開催日：平成25年10月17日(木)

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、軽井沢友愛ホール等

第20回臨時理事会

開催日：平成25年11月28日(木)

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、ÖJAB受入、友愛ドイツ歌曲コンクール等

第21回臨時理事会

開催日：平成25年12月28日(木)

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、ÖJAB受入等

第22回臨時理事会

開催日：平成26年1月16日(木)

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、平成26年度事業計画案、予算案等

第23回臨時理事会

開催日：平成26年2月20日(木)

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、平成26年度事業計画案、予算案等

第24回臨時理事会

開催日：平成26年3月6日(木)

場 所：友愛サロン

議 事：職務執行報告、平成26年度事業計画案、予算案等

第25回通常理事会

開催日：平成26年3月27日(木)

場 所：友愛サロン

議 事：平成26年度事業計画、平成26年度予算

## 〈2〉 評議員会開催

第6回定時評議員会

開催日：平成25年6月14日（金）

場 所：友愛サロン

議 事：平成24年度事業報告、計算書類

平成24年度公益目的支出計算実施報告書

第7回臨時評議員会

開催日：平成26年3月27日（木）

場 所：友愛サロン

議 事：平成26年度事業計画、平成26年度予算

監事選出

以上